

委員派遣実績報告書

令和5年11月17日

米子市議会議長様

民生教育委員会

委員長 今城雅子



委員派遣を行い、所管に属する事務に関する先進地事例について調査を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

委員会名	民生教育委員会
期 日	令和5年11月7日から令和5年11月9日まで
視 察 先 及び視察 内 容	11月7日（火） 愛知県刈谷市 調査項目：小中学校体育館空調設備整備事業について 11月8日（水） 兵庫県小野市 調査項目：「夢と希望の教育（脳科学と教育）」について 11月9日（木） 広島県三原市 調査項目：三原市児童館「ラフラフ」整備・運営事業 について
参加者名	【委員長】今城雅子 【委員】安達卓是、土光 均、戸田隆次、錦織陽子、 西野太一、矢田貝香織 【随 行】議会事務局 係長 坂本麻美
経 費	558,600円
委員会 所 感	別紙のとおり

1. 11月7日 愛知県刈谷市
「小中学校体育館空調設備整備事業について」

(1) 視察の目的

米子市においては、小中学校の普通教室にはエアコンが整備されているが、体育館には整備されておらず、愛知県刈谷市の小中学校には全てエアコンが整備されており、その経緯・整備手法について調査研究するため。

(2) 視察(説明)要旨

① 設置工事の内容

小中学校の体育館等に空調設備を設置することで、児童生徒の教育環境の向上(熱中症の予防等)及び避難所機能の強化を図る。設備の利用は、体育の授業や部活動、学校行事での利用を想定しているほか、地区行事やスポーツ開放等幅広い利用を考えている。

*スポーツ開放時の空調利用は有料とし、実費相当分徴収

② 設置している設備について

○ エネルギー源について

都市ガス、プロパンガス併用のGHP(ガスヒートポンプエアコン)方式採用

○ 設置場所

- ・室内機は、アリーナ面積が減少しないよう、基本的に2階点検通路下に吊り下げる形で設置。
- ・室内機の前にアリーナの空気循環させるための送風機を設置。
- ・室外機、プロパンガスのタンクは学校と協議を行い体育館、武道館横に設置。

○ 災害時の利用について

- ・都市ガスの供給が寸断された場合でも、プロパンガスでの運転切り替えし継続して空調を運転する事が可能。
- ・電源自立型の室外機を設置することで停電時においても、電力供給なしで運転を開始し、発電した電力で体育館のトイレや一部の照明を継続して利用する事が可能。

③ イニシャルコスト

- ・小学校 5千万円
- ・中学校 1億円(体育館・武道館—2施設)

④ ランニング経費

- ・小学校 130万円/年
- ・中学校 260万円/年(2施設)

⑤ 国庫補助金活用状況

- ・学校施設改善交付金活用
- ・補助率 2/7補助

⑥ 空調設備の運用について

- ・稼働期間 夏季—6～9月 冬季12～3月
- ・設定温度 28度 19度

○ 利用について

- ・エアコン操作は教職員
- ・エアコンのみ3時間で電源がオフになる設定

○ 学校以外の団体が利用する場合

- ・エアコンの利用は有料(半面30分ごとに550円、稼働時間に応じ後日請求)

エアコン操作は代表者又は当日の責任者が実施

○地区・自治会・選挙等

- ・エアコン、送風機の利用無料
- ・学校からエアコンのスイッチボックスの鍵を受け取り使用

(3) 主な質疑応答

Q 1. 1 体育館のエアコン設置台数について

A 1. 1 2 台である。都市ガス・プロパンガス制御施設 1 基

Q 2. 国庫補助金の動向について

A 2. 令和 7 年度までが総事業費の 2 分の 1 である

Q 3. エアコン稼働時の冷え状況について

A 3. ハイパワー装備であるので、10 分くらいで冷える

Q 4. 整備に至った経緯について

A 4. 市長の公約 教育環境の向上 避難所としての機能整備

Q 5. エネルギー源を都市ガス・プロパンガスとした理由について

A 5. 都市ガスが整備されている事、電源が常時確保できること

Q 6. 耐用年数について

A 6. 15～20 年想定している

(4) 考察

この度、刈谷市小中学校の体育館におけるエアコン整備状況について視察しました。整備の背景は、市長の公約であると共に、小中学校の体育館に空調設備を設置することで、児童生徒の教育環境の向上（熱中症の予防等）及び避難所機能の強化を図る目的で設置したとの事である。昨今においては、地球温暖化により気温が上昇し熱中症対策、また台風・大雨災害等が頻発している状況下であり、避難場所確保等の対応が迫られているところである。

本市に於いてもそれらの対応が急務と思考される事から、学校施設改善交付金（令和 7 年度末）等を有効活用し、教育環境の向上・避難場所機能強化を図るべく各小中学校へのエアコン整備実施について、当局に強く意見提言していきたい。

2. 11月8日 兵庫県小野市

「夢と希望の教育（脳科学と教育）」について

(1) 視察の目的

基礎学力の向上や、教育の今日的課題である「キレる子の増加」「小1問題」「不登校問題」「特別支援教育の課題」等の解決を図るための、教育全般に脳科学の研究成果を取り入れた施策について視察する。

(2) 視察(説明)要旨

- ①小野市は、『人いきいき まちわくわく ハートフルシティおの』を掲げ、総合計画を策定し施策を展開。教育においても、平成 17 年 10 月、東北大学川島隆太教授を教育行政顧問とし、刻々と変化する社会状況を把握しながら、独自の「脳科学と教育」を理念とする特色あるオンリーワン教育事業『夢と希望の教育』を、深化充実させながら継続的に推進してきた。

具体的には、「おの検定」、「16か年教育」、小中連携教育から「中一貫教育」として小学校高学年における「教科担任制」や、社会生活の上での基盤となる「コミュニケーション能力の育成」など、先進的な教育の展開をパンフレット（毎年更新）とパワーポイントにて説明を受けた。

②「おの検定」

「読み書き計算」が基礎学力向上の基本。

学力向上には、簡単な問題を継続することで脳の活性化ができるとの脳科学に基づく教育実践がなされている。このための日々の学習教材を学び、その成果を確認する学期に一回の「おの検定」の昇段を目標に生徒は取り組んでいる。

市内全児童が同じ教材、同じ検定に取り組むことで、多くの児童の学力向上が促進されていることは意義深い。

学習意欲の向上、全国学力調査でも良い結果にもつながっていると説明を受けた。

教員の負担については、検定支援員がいるので検定のための新たな業務とはなっておらず、日々活用する教材が統一されていることで、教員の負担軽減につながっているともいえる。また、家庭も巻き込んだ活用もされており、学びたい点である。

③「16か年教育」

妊娠期から、義務教育、就学前教育、特別支援教育、家庭・地域との連携、生涯学習など、子ども子育て家庭に対する教育施策を網羅する方針に大いに共感した。

④「食育」

学力向上のためには、脳の発達が不可欠であり、食事、特に朝食が大切だとの研究結果を保護者にも認識してもらい、家族への啓発と協力を促す取組は大切なアプローチだと感じた。

⑤コミュニケーションを大切にした授業とデジタルを読み解く力

○ 一人一台の端末の今、必要な時に必要な場面で使う

○ アナログの良さも大切にする

○ 使いこなすのではなく使いわける

上記のような点を保護者との共有に努めているとのこと。

スマホ（特にコミュニケーションアプリ）の使用時間と学力調査結果の関係が明らかになっていた。

(3) 主な質疑応答

① スマホを所持する児童生徒が格段に多くなったが、学校には持ってこないという基本ルールの上、各家庭の事情で認めている。学習時間帯は教員が預かるようにしている。

② 「脳科学と教育」の取組による、「いじめ」「不登校」等に変化はみられていないと認識しているが、大きないじめ事案はない。

③ 1小学校と1中学校の一貫校の事例紹介について

「小1から小5」・「小6から中3」まで、700メートル離れた2つの校舎で過ごしている。成長段階の小さな段差に細かく対応できる点は評価できるととらえている。

2つの校舎が老朽化しているため、一貫校としての施設の在り方は、今後の検討となる。

一貫校スタート時点では、市民の受け止めはいろいろあったとも聞いているが、現在は地域との関係も良く、授業や部活動、地域行事との交流もとても活発である。

- ④小中一貫による小学校高学年への専門教員による授業の教員や担任の負担感については、常時の取組ではない。現場での大きな課題はないととられている。ソフト面の小中一貫がメインである。
- ⑤早寝早起き朝ごはんは、啓発だけでなく、朝食の現状を幼稚園から中学まで、摂取や栄養バランスがわかる「ひまわりカード」提出という形で取り組んでいる。その結果から、低年齢児（家庭）への支援について問題意識を持ち、未来のパパママや保育園への啓発活動に努めているとのこと。

(4)視察(説明)要旨に対する委員の考え及び本市の事務事業に参考となる点

東北大学川島隆太教授を教育行政顧問として迎えての、継続的な取組に、「16か年教育」への強い思いを学ぶことができた。

米子市の「こども総本部」の教育と福祉の連携について、小野市の取組を参考にしたい。

3. 11月9日 広島県三原市

「三原市児童館『ラフラフ』整備・運営事業について」

(1)視察の目的

18歳までの子どもと保護者が自由に利用できる三原市の児童館「ラフラフ」は、中高生も気軽に遊びに来場できる場所である。また、中高生が活躍できる場所となり、多くの利用者が気軽に出掛けられる児童厚生施設として地域住民に利用されている。

利用実績も高められている三原市の児童館「ラフラフ」を行政視察先に選定をして、研修することとした。

(2)視察(説明)要旨

児童館「ラフラフ」について

【概要】

0歳から18歳までの子どもと保護者が自由に利用できる施設

登録とか事前予約は不要

施設のめざすところ

①最も敷居の低い子どもの居場所

②家庭、学校以外の第3の居場所

【特長】

①中高生と一緒に作った児童館

⇒前面に押し出す 「新児童館ティーンズ検討会」を立ち上げる

愛称をラフラフとする

ロゴマークの意味3つのマークの大きさで<乳幼児、小学生、中高生、保護者>という

無料WiFi、ダンスのできる部屋づくりと鏡の設置、木調の雰囲気づくり、赤ちゃんと保護者がゆっくりできる部屋など

②施設を利用する子ども達や保護者が運営に関わっている

- 市の直営施設で、スタッフは会計年度任用職員6人の体制
- ③以前の建物が老朽して、三原駅前の旧天満屋の建物をリニューアルし、オープンスペースを利用したもの。10時から19時の開館（拡大変更）
- ・赤ちゃんスタッフ、きつずスタッフ、ティーンズスタッフ、ユニスタッフ＝県立広島大学三原キャンパスの学生スタッフ、サポーターズスタッフが運営に関わる

【結果】

平成31年の旧児童館との比較で

- ①中高生だけでなく、ラフraf全体の来館者が増加
1日平均利用者数 約2.2倍増
- ②中高生利用者数 約10.2倍増

(3)主な質疑応答

Q1. 県立広島大学との連携による成果について

A1. 本大学との連携は去年からであり、これまで中高生の利用を増やすことを目標に中高生のスタッフが色々と活動をしてきてきたが、そのティーンズスタッフに対して、大学生との新たな交流や企画をすることができたことが一つの成果であると考えている

Q2. 市内の子育て支援センターについて

A2. 保育所併設で市内に11か所ある（所管課は異なる）

Q3. 児童館のあるペアシティ三原の建物の所有者について

A3. 市の単独の所有物ではなく、共有の建物（土地も含む）であり、賃借料（床の使用料）を払っている

Q4. 人件費の内訳（職員数）について

A4. 会計年度任用職員6名であり、児童館は常時3名勤務、交代制である

Q5. ティーンズスタッフの男女の割合について

A5. 9割が女子で1割は男子である。男子の中には将来の夢が学校の先生という子どもがいる。ティーンズスタッフは昨年度は39人が卒業し、今年度は新たに20人が登録した

Q6. 外国籍の子どもの利用について

A6. 児童館の利用もあり、ティーンズスタッフの登録もある

(4)評価、考察

- ・利用について、ラフraf全体の来館者が中高生だけでなく増加した。
- ・目指す館の姿や運営方針などについて、職員スタッフのみではなく様々な意見を反映させて運営面にまで結び付けていて関わる人の息遣いまで感ずることができた。中高生が卒業後も出掛けていて、これからも世代交代も図られるようで明るい見通しを感じられた。
- ・担当する児童館スタッフはすべて会計年度任用職員であり、担当課の正規職員との連携もあるが、児童館スタッフの熱意ややりがいにも負う面も多く感じられる。要となる児童館スタッフの処遇面などでの課題があるが、多くの子どもや市民を巻き込む手法は、米子市にとっても大いに参考になる視察であった。

民 生 教 育 委 員 会 行 政 視 察 行 程 表

◎参加者8名〔委員7名〕今城委員長、安達委員、土光委員、戸田委員、錦織委員、西野委員、矢田貝委員〔随行1名〕坂本

月 日	行 程	宿泊地
11/7 (火)	<p>8:19 8:24 10:35 10:58 12:34 12:46 13:05 13:55</p> <p>米子駅 == 伯耆大山駅 == 岡山駅 ===== 名古屋駅 ===== 刈谷駅 ** 刈谷市役所</p> <p style="text-align: center;">JR 特急やくも 8号・岡山行 JR 新幹線のぞみ 16号・東京行 JR 東海道本線・豊橋行 (送迎あり)</p>	刈谷市内泊
	<p>◎愛知県刈谷市行政視察 (午後2時ごろから2時間程度) 【議会事務局】</p> <p>〔調査項目〕小中学校体育館空調設備整備事業について ☎0566-62-1032</p>	
	<p>16:10</p> <p>刈谷市内小学校 ** 宿泊先</p> <p style="text-align: center;">(送迎あり)</p>	
11/8 (水)	<p>9:13 9:35 10:03 11:33 12:27 12:37 12:42 13:02 13:20</p> <p>刈谷駅 === 名古屋駅 ===== 姫路駅 ===== 加古川駅 ===== 小野町駅・・・小野市役所</p> <p style="text-align: center;">JR 東海道本線 JR 新幹線ひかり 503号 JR 神戸線 JR 加古川線 (タクシー)</p> <p style="text-align: center;">・大垣行 ・岡山行 ・近江塩津行 ・谷川行</p>	福山市内泊
	<p>◎兵庫県小野市行政視察 (午後1時半ごろから2時間程度) 【議会事務局】</p> <p>〔調査項目〕「夢と希望の教育(脳科学と教育)」について ☎0794-63-1006</p>	
	<p>16:11 16:31 16:38 16:48 17:50 18:27</p> <p>小野市役所・・・小野町駅 === 加古川駅 === 姫路駅 ===== 福山駅 ** 宿泊先</p> <p style="text-align: center;">(タクシー) JR 加古川線 JR 神戸線 JR 新幹線さくら 565号 (徒歩)</p> <p style="text-align: center;">・加古川行 ・姫路行 ・鹿児島中央行</p>	
11/9 (木)	<p>9:06 9:39 9:50</p> <p>福山駅 === 三原駅 ** 三原市児童館ラフraf</p> <p style="text-align: center;">JR 山陽本線・三原行 (徒歩)</p>	福山市内泊
	<p>◎広島県三原市行政視察 (午前10時ごろから2時間程度) 【議会事務局】</p> <p>〔調査項目〕三原市児童館「ラフraf」整備・運営事業について ☎0848-67-6137</p>	
	<p>14:34 15:52 16:16 18:16 18:22</p> <p>三原市児童館ラフraf ** 三原駅 ===== 倉敷駅 ===== 伯耆大山駅 == 米子駅</p> <p style="text-align: center;">(徒歩) JR 山陽本線・長船行 JR 特急やくも 19号・出雲行</p>	

旅費計算表

令和5年11月7日～令和5年11月9日(2泊3日)

愛知県刈谷市・兵庫県小野市・広島県三原市
 民生教育委員会行政視察

月日	区間	鉄道路線名	運賃	備考	急行料金		日当宿泊料		
					特別	新幹線	議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
11/7	米子～岡山	JR	8,910	159.1km	2,730		議員1,100円	10,900円	9,800円
(火)	岡山～名古屋	JR新幹線		366.9km		5,230	1,100		9,800
	名古屋～刈谷	JR		24.4km					
11/8	刈谷～名古屋	JR	5,500	24.4km			1,500		13,300
(水)	名古屋～姫路	JR新幹線		278.3km		3,930	1,100		9,800
	姫路～加古川	JR	590	15.7km					
	加古川小野町	JR		13.7km					
	小野町～加古川	JR	3,080	13.7km					
	加古川姫路	JR		15.7km					
	姫路福山	JR新幹線		146.9km		3,060			
11/9	福山三原	JR	590	31.6km					
(木)	三原倉敷	JR	3,740	74.0km			1,500		
	倉敷米子	JR		143.2km	2,390		1,100		
計	議員旅費		70,850	22,410		5,120	12,220	4,500	26,600
	随行者旅費		62,650	22,410		5,120	12,220	3,300	19,600

出席議員：今城委員長、安達委員、土光委員、戸田委員、錦織委員、西野委員、矢田貝委員

随行者：坂本

議員	70,850 × 7名 =	495,950
随行者	62,650 × 1名 =	62,650
合計		558,600